

基本目標4 子どもの心身の健やかな成長のための環境整備

施策の方向1 子どもの健全育成

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 平成28年度実績 | 評価 | 課題・今後の方向性 | 担当課 | 関連課 |
|----|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 1 | (☆)学童クラブ事業 | 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもに対し、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。開設後、長期間経過した施設については、順次、修繕等を行い、生活環境の向上に努めます。 原則として、利用の必要性の高い小学校低学年の子どもの利用を確保します。小学校高学年の子どもの利用については、公立学童クラブの施設整備や民間活力の導入、その他の放課後児童対策なども含めて検討し、計画期間内に確保していきます。 | 学童クラブでは、武蔵野小と小作台小で平成28年度の申込み件数が定員を超過し、待機児童が発生したため児童館の放課後サポート事業で受入れをした。 武蔵野小については、武蔵野第二学童クラブの定員拡大のため施設を移設し、平成28年5月16日から開所した。これにより、武蔵野小学校の待機児童は解消した。 | ○ | 今後の児童数の推移に注視し、待機児童が発生しないよう対策を検討していく。 また、民間活力の活用として、指定管理者制度の導入を検討したが、「指定管理者制度導入及び運営指針」において導入する目的とされている「経費の節減」及び「サービスの向上」の双方とも該当しないため、指定管理者制度はそぐわないという結論となった。 | 児童青少年課 | |
| 2 | 放課後子ども教室「はむらっ子広場」 | 小学校の校庭や余裕教室等を活用して、放課後の子どもたちの安全な居場所を確保し、地域住民の参画を得て、学習・スポーツ・文化芸術活動や地域住民との交流活動を行う放課後子ども教室を、小学校全校で実施します。 | 放課後子ども教室を市内全小学校(7校)で実施し、児童延13,649人の参加があり、異学年の子ども達との交流が図れた。 また、地域の方がボランティアとして参加し、子ども達に将棋や編み物、工作などを教えるなど、世代間交流も図れた。 | ◎ | 実施回数増の検討や実施内容の充実に努める。 | 児童青少年課 | |
| 3 | 児童館事業 | 児童館では、安全で安心な遊びの場として、また、子育て支援の拠点として、子どもを心身ともに健やかに育成するため、大学との連携等による各種事業を充実するほか、施設や設備の改修を進めています。 また、事業の更なる充実を図るため、運営方法については、民間活力の導入なども含めて検討していきます。 | 平成28年度の利用者数は、79,742人となっており各児童館で開催した事業にも10,133人の参加があった。 杏林大学との連携では、大学生1名が児童館の運営に携わり事業の充実を図ることができた。 中央児童館のプラネタリウムを新システムに更新し、西児童館ではDVDを新たに購入し運営の充実を図った。 | ◎ | 安心で安全な遊びの場及び子育て支援の拠点として、安定した運営を進めていく。 大学との連携についても引き続き実施していく。 民間活力の活用として、指定管理者制度の導入を検討したが、「指定管理者制度導入及び運営指針」において導入する目的とされている「経費の節減」及び「サービスの向上」の双方とも該当しないため、指定管理者制度はそぐわないという結論となった。 | 児童青少年課 | |
| 4 | 体験学習・社会参加活動 | 広い視野と社会性を持った子どもを育成するため、子ども体験塾や社会参加実践活動等を実施します。 | あきる野市と共同で実施している大島・子ども体験塾や、各地区を清掃する社会参加実践活動、夢チャレンジセミナーを実施した。社会参画実践活動は1,238人が参加し、夢チャレンジセミナー「めざせお医者さん～病気ってどう治すの?～」は12人の小・中学生の参加があり、子ども達の心身の健やかな成長が図れた。 | ◎ | 今後も、様々な体験のできる大島・子ども体験塾をあきる野市と共同で開催していくとともに、その他の体験活動も推進し、青少年の健全育成を目指していく。 | 児童青少年課 | |
| 5 | 少年少女球技大会 | 心身ともに健やかな子どもたちを育て、地域における異年齢集団の活動を促進することを目的に、青少年対策地区連絡協議会と連携し、ソフトボール及びキックボールによる少年少女球技大会を実施します。 | 少年少女球技大会については、2日間で延1,037人の選手が参加して熱戦を繰り広げた。 また、各地区で地区大会も行われるなど、地域における異年齢集団の活動を促進することができた。 | ◎ | 今後も、様々な体験活動を推進し、青少年の健全育成を目指していく。 | 児童青少年課 | |
| 6 | 青少年犯罪の防止 | 子どもの健全育成や非行の未然防止を図るため、地域における育成活動や有害図書等の追放、市内パトロールなどの環境浄化活動などに取り組んでいる青少年育成委員会活動を推進します。 | 年6回、警察署員とともに不健全図書や夏祭りなどのパトロールを行っており、また、7つある班がそれぞれ定期的に市内をパトロールし、環境浄化活動などに取り組んだ。 | ◎ | 今後も、地域で青少年の健全育成活動を担っている団体への支援を継続していく。 | 児童青少年課 | |
| 7 | 「青少年健全育成の日」事業 | 関係機関や地域団体の協力を得ながら、地域における子どもの健全育成を促進するため、「青少年健全育成の日」事業の充実を図ります。 | 第34回青少年健全育成の日として、ポスターコンクール入賞者や青少年健全育成成功労者の表彰、各地区の子ども達を中心となり企画・運営する模擬店の出店などを行った。 | ◎ | 今後も、青少年健全育成の日事業などを通じ、青少年の健全育成を目指していく。 | 児童青少年課 | |
| 8 | 青少年対策地区委員会等への活動支援 | 子どもたちが豊かな人間性を身につけながら健全に成長できるよう、町内会・自治会育成部や青少年対策地区委員会等の活動を支援します。 | 青少年対策地区委員会や青少年育成委員会などの、地域の青少年育成団体への支援を通じて、地域における青少年の健全育成を図った。 地区委員補助金 3,962,950円 育成委員補助金 45,000円 | ◎ | 今後も、地域で青少年の健全育成活動を担っている団体への支援を継続していく。 | 児童青少年課 | |
| 9 | 青少年問題協議会 | 子どもの健全育成や子ども・若者が抱える問題等について、各種青少年関係機関・団体と連携を強化し、情報や問題意識の共有化を図ります。 | 青少年の健全育成に向け、関係機関・団体との連携を強化し、青少年の現状について問題意識の共有化を図るため、年2回開催した。 また、第1回目は「子供・若者への支援」、第2回目は「自転車の安全教育とマナー」をテーマに定め、意見交換を行った。 | ◎ | 今日的課題を抽出し、青少年問題協議会として対策を講じていく。 | 児童青少年課 | |

基本目標4 子どもの心身の健やかな成長のための環境整備

施策の方向2 家庭や地域の子育て力の向上

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 平成28年度実績 | 評価 | 課題・今後の方向性 | 担当課 | 関連課 |
|----|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------|
| 1 | 家庭教育セミナー | 家庭や地域の教育力の向上を図るため、各小中学校のPTAとの共催による家庭教育セミナーを開催します。 | 市内小・中学校PTAとの共催により、平成29年2月19日(日)に生涯学習センターゆとろぎで家庭教育セミナーを開催した。平成28年度は「家庭で備える防災教育！子どもが自分自身を守るように」をテーマに、「NPO法人コドモ・ワカモノまちing」より講師を迎え、大人102人、子ども22人の計124人が参加して行われた。今年度は、親子で参加できるセミナーとして同じ会場内でスペースを分け、親は座学、子どもは段ボールや新聞紙など身の回りにある材料で防災に役立つものを自ら考える体験型講座として実施した。 | ○ | 今後もPTAと連携し、保護者が求める家庭教育に関する学習の場を提供するとともに、未就学児の保護者にも周知していく。 | 生涯学習総務課 | |
| 2 | ブックスタート事業・読書活動 | 乳児健康診査時を「乳児が初めて絵本と出会う機会の場」と位置付け絵本を配布します。また、BCG接種時に、絵本の読み聞かせを通じて親子のふれあいを深められるよう保護者向けに絵本の読み聞かせ指導、図書館の利用方法、絵本の紹介などを行い、読書活動の啓発を図ります。 なお、ひろば事業などの機会にも、絵本に関する情報提供・周知を図っていきます。 | 絵本の配布 乳幼児健診時(月1回)に絵本を配布した。配布数408人 読み聞かせ指導(絵本の紹介等) BCG予防接種時に毎月1回実施した。 参加:162組 | ◎ | 配布する絵本について、健康課、図書館で協議しながら乳幼児が興味を持ち、読み聞かせにも適した絵本を選定していく。今後も多くの参加が得られるよう、周知方法などの検討を行っていく。 | 図書館 | 健康課・子育て相談課 |
| 3 | 地域教育シンポジウム | 子どもと大人の率直な意見交換の機会を通じて、地域ぐるみで子どもを育てていくため、教育委員会と青少年対策地区委員会や青少年育成委員会、小中学校PTA、小中学校副校長会等による実行委員会が共催して地域教育シンポジウムを開催します。 | 市内小・中学校PTA連合会、青少年対策地区委員会、青少年育成委員会、市立小・中学校副校長会、杏林大学から構成する地域教育シンポジウム実行委員会との共催により、平成29年1月21日(土)に生涯学習センターゆとろぎで「第19回羽村市地域教育シンポジウム」を開催した。平成28年度は「考えてみよう！みんなの個性！」をテーマに、大人132人と子ども69人の合わせて201人が参加し、羽村第一、第二中学校の演劇部による導入のための寸劇鑑賞後、子どもたちと大人がグループ討議形式で意見交換を行った。 | ○ | 地域の大人が子どもを取り巻く状況等について知り、地域ぐるみで子どもの成長を見守っていくためにはどうしたら良いか等を考える場を提供し、地域の教育力の向上を図っていく。 | 生涯学習総務課 | |
| 4 | 親の子育て力の向上 | 子育て中の親に対し、子育てに関するスキルを養ったり、仲間づくりを通じて、親の子育て力の向上を図るため、講座等を開催します。 また、地域全体で親の子育て力向上に向けた取組を推進するため、保健・福祉・教育部門等と連携し、子育てに関する様々なテーマの講演会・講座等を開催します。 | *NP(ノーバディーズパーフェクト)講座の実施 *みんなで楽しむ子育て講座(パパ講座)の実施 *サタデーおしゃべり場の実施 *児童虐待防止講演会の実施 | ◎ | 子育てに関するスキルの向上と育児不安の軽減が図れた。またゆとろぎと連携し父親の積極的な育児参加について意識啓発が図れた。親同士の交流の場を提供したことで仲間づくりに寄与した。講演会の開催では、児童虐待の早期発見、未然防止への意識啓発を図るとともに、関係機関の虐待対応力向上が図れた。 引き続き講座や講演会を継続していく。 | 子育て相談課 | |
| 5 | 育児サポート事業 | 育児に不安を感じている乳児期の子どもを母親を対象に、育児や子どもとの関わり方・遊び方の紹介など、母親同士の話し合いによるグループ活動を実施します。 また、参加者同士の交流の場や仲間づくりの場として活用できるよう支援していきます。 | *育児サポートグループ(すくすく教室) 参加者実人数 18人、延人数62人 | ◎ | 育児不安の高い方に対し、子どもとの具体的な関わり方を伝えたり、保護者同士の交流の機会を提供し、参加者が相互に支え合える関係づくりを図った。 参加者の状況に応じて、グループ活動の内容を見直ししながら安心できる場づくりに努めていく。 | 健康課 | |
| 6 | 育児体験事業等への支援 | 中学生や高校生等が幼稚園や保育園等における育児体験をする際に、実施場所の提供等の支援を行います。 | 認可保育園13園、幼稚園6園、認定こども園2園で中学生の受入を行った。 | ◎ | 中学生にとって、実際の育児現場にふれ、良い経験ができたと思う。今後も実施にあたっての支援を行っていく。 | 子育て支援課 | |
| 7 | 乳幼児健康診査、育児相談における情報提供 | 各種乳幼児健康診査や育児相談を通して、乳幼児期の子どもの成長にかかわる正しい知識や親の役割、家庭環境づくりなど育児に関する情報提供に努めます。 | *3~4か月児健診において、健診や予防接種の受け方に関する小集団指導を実施。 *1歳6か月児健診、及び3歳児健診において、子どもの生活リズムや育児、保護者の健康づくりに関するリーフレットを配布。また、適切な食事内容や歯のブラッシング方法について集団指導を実施。 | ◎ | 乳幼児健診や育児相談の際に、子どもの健康や育児に関するリーフレットを配布し情報提供を行った。3~4か月児健診においては、平成29年度から保健師が健診の最後に再度面接を行い、予防接種の受け方など個別に説明の機会を設けていく。市民に伝わりやすい紙面の工夫など、配布資料の充実に努めていく。 | 健康課 | |
| 8 | 幼稚園・保育園等に対する情報提供 | 幼稚園・保育園等に対し、家庭における適切な親子関係の構築、しつけや教育など関係機関が行う研修会等の情報提供を行います。 | 東京都や各種団体が実施する研修会等について、遅滞なく情報提供を行った。 | ◎ | 引き続き情報提供を行っていく。 | 子育て支援課 | |